

東亨展
ペルーへの手紙



2020年1月11日(土)－19(日) 会期中無休

GALLERY
うつわノート

料金後納
ゆうメール

東 亨 展 ペルーへの手紙

2020年1月11日(土)～19日(日)

営業時間 11時～18時 在廊日 1月11日

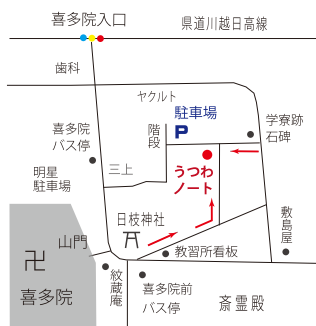


大阪府堺市の金属造形作家・東亨(あずま・りょう)さんの第二回目の個展です。前回は自ら「てっかり」と呼ぶ錆びたブリキ板を叩いたオブジェを展示しましたが、今回は一転してペルーの文化に触発された作品が登場します。古代ペルーは太陽を崇拝し高度な黄金製品を生み出した地域ですが、今展はインカの一步手前、紀元前から1470年頃までのプレ・インカ時代にあたるモチェ文化やチムー文化に触発された造形作品が並びます。東さんの興味は古代ペルーの民俗工芸への関心というよりも、チムー文化の金属造形物に見られる動物や鳥をモチーフにした戯画的な「はりぼて感」のある金属の異種感覚に魅せられているところが大きいのです。造形イメージは全く異なるものの金属という素材側から導かれる「てっかり」と同様に、作る側と加工される素材の主客が逆転したアフォーダンス(環境が人に対して提供する「意味」)の意識が、両者の造形に共通しているのです。今展に向けた東さんの言葉によれば「チムーやモチェの工芸を眺める手触りはまるで「かるた」の様であり、それ写すのではなく「てっかり」と同様に金属を解き叩いていくことで形を成すのです。金属という素材から手紙を頂いてペルーに手紙を書くような作業でした。」との事であり、具象的造形を表しながら、素材側から捉えた客観性に立脚した「物体」と捉えることが出来るでしょう。さて、2020年最初の展覧会です。概念的に作品の意味を問う、そんな謎解きも楽しめる内容になりそうです。

店主

プロフィール

1988年 三重県生まれ
2011年 大阪芸術大学金属工芸コース修了
2011-14年 同大学にて助手
2015年~ 社会福祉法人に勤務
2020年 現在、大阪府堺市在住



ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6
TEL 049-298-8715
MAIL utsuwanote@gmail.com

電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分
本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分
バス：駅東口3番乗場 [小江戸名所めぐり]～[喜多院前]
駅西口2番乗場 [小江戸巡回バス]～[喜多院]
車：ギャラリー専用の駐車場は北側(5～8番)

